

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

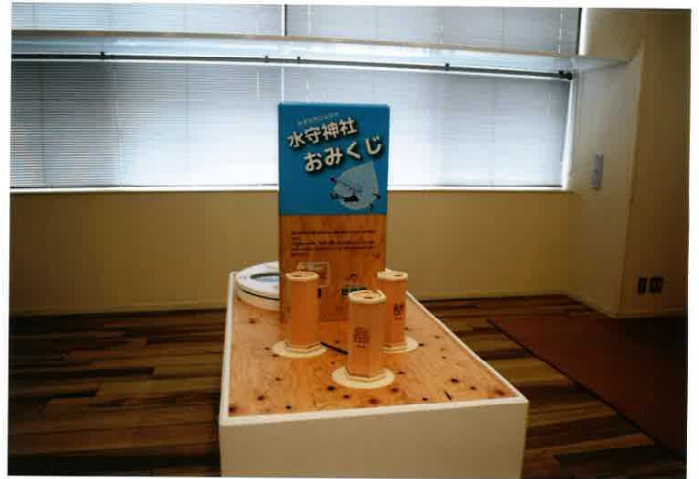


「道はわが未知の世界と自分と結びつける貴重な役割を果たした」といふ。

英留學でテムズ川の水運史研究に取り組んだのも、その感動に導かれたことだった。

これからのことも遠は
何んでこうなるの？
疑問が必要、研究はそこから
新天皇陛下が小宮主
のよう、散策して、赤坂御用地の
片隅に杭があるのを見つけた
養老の孫、赤坂東宮御待従
にたがねた。杭には、奥州街道と
とある。「一本の杭に記されし道
の名に我々、問の道はほじまる」
は皇太子時代に詠まれたお歌だ
ある。杭は近年に立てられたものだが
が御用地内を鎌倉時代の街道が
通っていたことと、この時は本当に
興奮したと回想されている。

水の道の研究は後に世界的な水問題への取り組みを促した。外交官としての新皇太子陛下は、従来の天皇家にはない豊富な海外経験をもつ新両陛下である。貧困環境とも運動する水問題に取り組んできた実績は、国際公共的テーマにも



ニホンエゾツカが増え続けている。原因は？

この様な学習の場所をこれから利用すべきである。

強い関心を寄せる新しい天皇陛下を世界に印象づけよう

外国人労働者の受け入れ拡大などで多様性を増す日本社会だ。

その「統合」の象徴としてあるには、かつてない発想や努力も求められよう。

幸福の命を願う歩みも始めた新両陛下の道は平穏を祈りする。

それと最後に子供達もこれからは、これは一本指し示すのか？疑問に思った。ものを遠くまで心の大切さを伝えます。

新型コロナが、松達に二月半かえる時間を与えてくれた。若しかつたが、再出発の絶好の機会を「レジェンド」にして心に納めておくことは大切である。

この動物は？ あらいづかか!!

